

かんがえるって おもしろい！

がくしゅうひかりのくに

週案例

- ・ 保育絵本を活用し、梅雨の活動を楽しむ。
- ・ 数の表現に親しみ、日常生活の中でも用いる。

ねらい

活動内容

環境や援助

からもご活用ください。



6月号は
船で冒険に
行くんだね。



船が
牛乳パックで
できてる！



ひょうし

制作物や物語を読み取るなどして楽しむ。

小さい船も
かわいいな。



しゃかい・しぜん 2～9ページ

うれしい たのしい、あめ

ねらい

雨が生き物や生活を支えてくれていること、雨の日ならではの遊びを知ること、雨の日の気持ちを盛り上げる

活動内容

・ 誌面から雨の日ならではの自然や環境に興味を持つ



どんな生き物に
出会えるかな？

カタツムリに
会いたいな。



木や草のところを
よく見てみようよ！

環境や援助

- * 小雨や雨上がりに出かけ雨の日の発見を楽しめるようにする。
- * 出かける前にどんな生き物や自然を見つけたいかグループを作って話をし気持ちを盛り上げ、意欲を高める。
- * 雨の日に出会えない生き物についても考えてみる。



保育がひろがるぞう！ポイント

水を大切に使う活動につなげましょう。

ねらい

雨が自分たちの使う水の源だと知り大切に使おうという気持ちを育む

活動内容

- ・水を大切に使うためにできることを話し合う
- ・日常生活の中で水を大切に使うとする

水を使わないときは
きちんと止める！

ありがとうって
思いながら使うよ。

そうだね。
今日からやってみよう！



環境や援助

- * どのようなときに水を使うか子どもたちから経験を引き出す。
- * 話し合いで出た意見をクラスのルールとして見られるようにしておく。



しぜん・かがく 10～13ページ

あめに てつだって もらおう！

ねらい

雨の日ならではの遊びで
雨を楽しむ

活動内容

- ・友達と話し合いながらさまざまな道具で雨だれの音を楽しむ
- ・雨を使ってにじみ絵を楽しむ

雨だれ、
どこがいいかな？

大きい缶と小さい缶で
音は違うのかな？

大きい缶のほうが
音が大きそう！



環境や援助

- * どんな道具で雨だれの音を聞きたいか話し合い、用意する。
- * にじみ絵で作りたい題材があれば、事前に子どもたちと混色の実験をするなどし、使う色を考えられるようにしておく。



ことばのおはなし 14～25ページ

ふえふきロボット ロロ

ねらい

音と文字の対応を理解するために、
語の中にいくつの音節があるかお話を
通して学ぶ

活動内容

- ・お話に参加して楽しむ
- ・ロロが何と言っているか友達と一緒に考えて遊ぶ

何色がほしいのかな？

「びっ」「びっ」だと

音は何個？

音は2個！

『あか』と『みどり』だから…

わかった！

『あか』のリボンだ！



環境や援助

- * 「ロロは音の数でお話するんだね。『びっ』『びっ』だと音は何個？」などロロの表現の仕方について子どもたちと丁寧に確認する。
- * グループを作って友達と一緒に考えられるようにする。



保育がひろがるぞう！ポイント

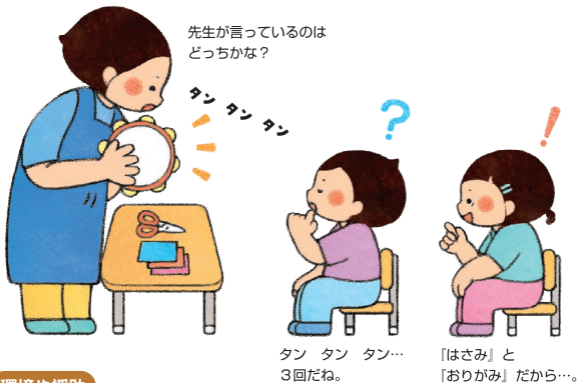
読後、実際に音の数で遊びましょう！

ねらい

遊びの中で音の数の理解を深める

活動内容

- ・楽器などを使って音の数を表現したりクイズにしたりして楽しむ



環境や援助

* 笛の他にもタンブリン、カスタネット、太鼓など1音1音が聞き取りやすい楽器を用意する。



かず 26～31ページ

なんばんめかな？

ねらい

「～から何番目」という表現方法に親しむ

活動内容

- ・絵本で遊びながら順序を表す表現を言葉にする
- ・日常生活でも順序を表す表現を用いて親しむ

うさぎさんは前から3番目だったけど
前から1番目は誰かな？

前から1番目…、
1番前ってことかな？

じゃあねずみさんだ！



環境や援助

- * 「前から1番目は誰？」など誌面を使って課題の他にもクイズを出すなど、表現に親しめるようにする。
- * 「後ろから2番目の人が取りに来てね」「○○さんは右から何番目？」など日常生活でも順序を表す言葉を使うようにする。



みんなで はなしあおう！ 32-33ページ

してほしくないことをされたら

ねらい

友達と話し合い、聴き合うことで多様な見方や問題解決があることを考える

活動内容

- ・ 思いや考えを言葉で表しながら友達と活動する
- ・ 話し合いの中で自分と違う考えや気持ちがあることに気付く

完成を手伝ってもらえたら
ぼくはうれしいけどな…。



じゃあこのお友達も
喜んでくれると
思ったのかもしれないね。

環境や援助

- * 子どもたちにより身近な事案があれば例に出して考えるようにする。
- * それぞれの立場で考えられるよう言葉をかける。